

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第22号)のトピックス

- 2016-17年シーズン(2016年36週/9月~2017年20週/5月)のまとめ
患者報告数の週別推移、年齢階級別患者報告数、入院患者サーベイランス
ウイルス検出状況・ウイルスの遺伝子系統樹解析

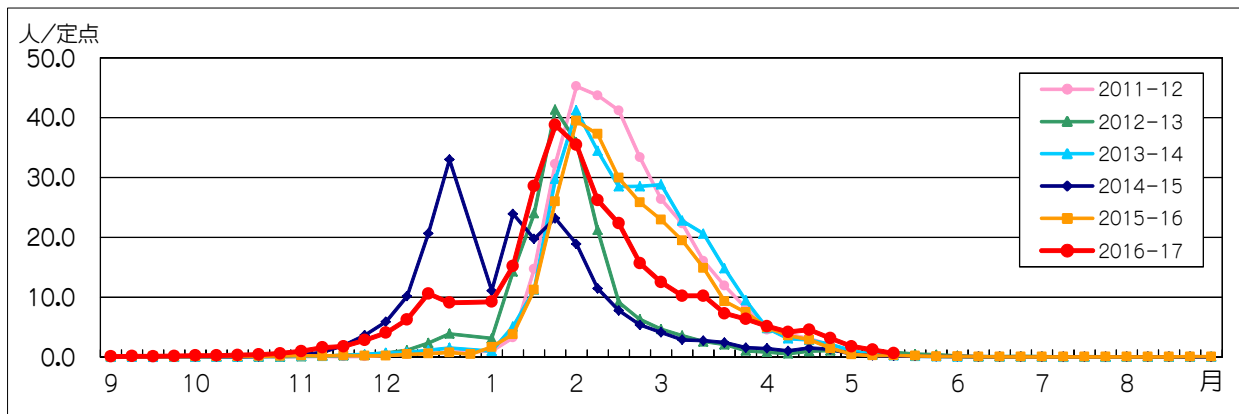


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移(東京都)

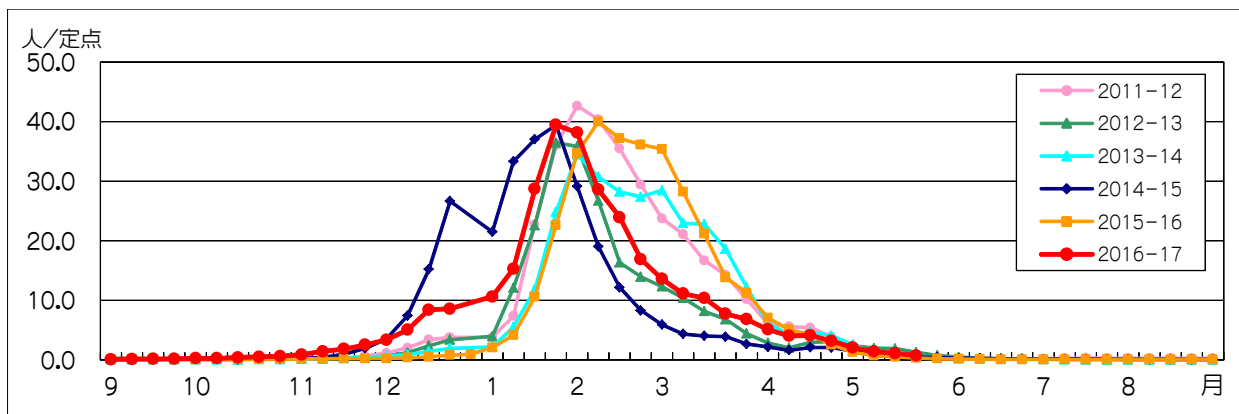


図2. インフルエンザ定点当たり患者報告数の推移(全国)

2016-17年シーズンのまとめ

東京都における2016-17年シーズン(以下、今シーズン)の流行は、2016年46週(11月14日~20日)に1.57人/定点と流行開始の指標となる患者報告数1.0人/定点を超え、4週(1月23日~29日)に38.73人/定点とピークを示した後順調に減少しました(図1)。全国も、4週に39.41人/定点とピークを示した後、順調

に減少しました(図2)。

今シーズンのインフルエンザ定点当たり患者報告数の累計は過去10年で3位(297.31人/定点)と、大規模の流行になりました。

*:インフルエンザ定点

419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

**：基幹定点

25か所(全国約500か所)の医療機関を「基幹定点」として指定しています。

(1) 患者報告の状況

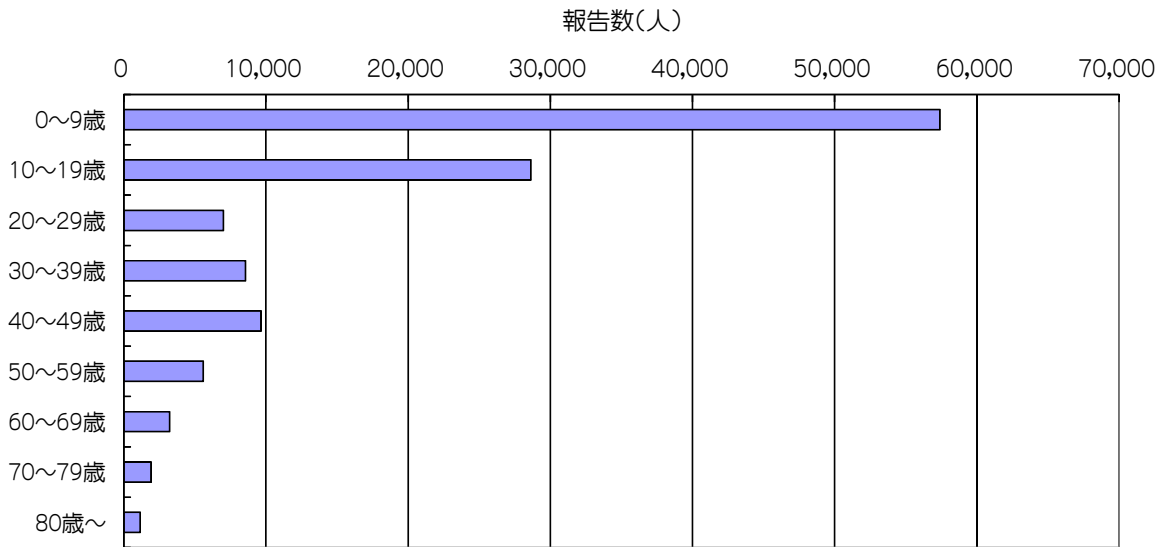


図3. 年齢階級別インフルエンザ患者報告数 (東京：2016年36週-2017年20週合計)

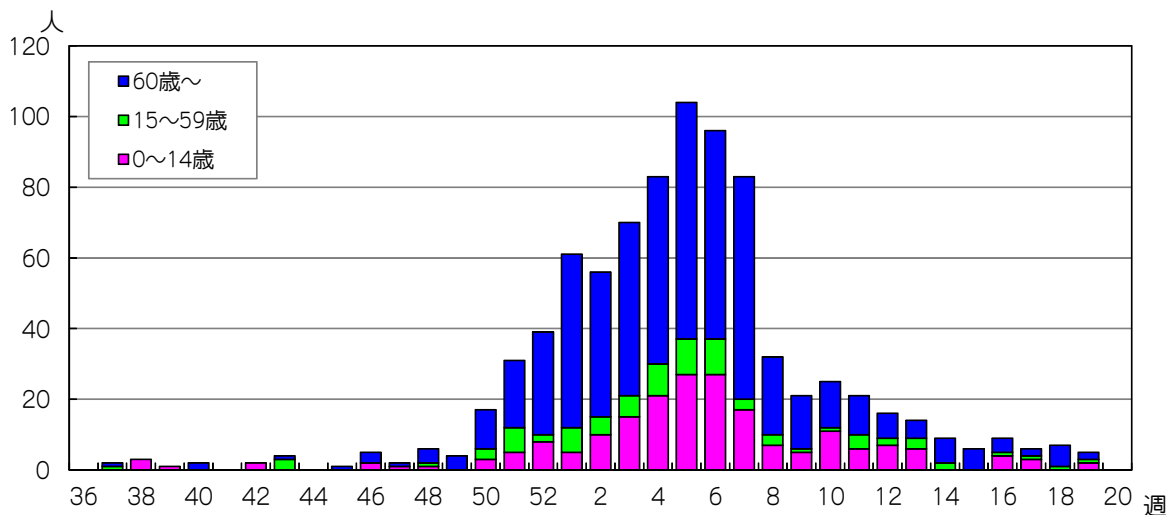


図4. 入院患者サーベイランス報告者数の推移

患者報告数を年齢階級別にまとめると図3のようになります。インフルエンザ定点419か所の内、小児科が264か所を占めるため、0～9歳の年齢域の患者報告数の割合は、過去10年では44～59%の範囲になっています。今シーズンは例年と同様に約47%となっています。

入院患者サーベイランスでは、843人(33.68人/定点)の報告がありました。年齢階級別で見ると0～14歳が199人(24%)、15～59

歳が87人(10%)、60歳以上が557人(66%)でした。昨年在0～14歳256人(47%)、15～59歳81人(15%)、60歳以上209人(38%)であったのに比して、今年は0～14歳の割合が少なくなり、60歳以上の高齢者の割合が多くなっています。週別の入院患者の報告数はインフルエンザ定点からの患者報告数のピークとほぼ同じで、5週にピークを迎えました(図4)。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1pdm09	AH3	B
36週(9/5-11)	3	0			
37週(9/12-18)	1	1		1	
38週(9/19-25)	2	1		1	
39週(9/26-10/2)	2	1		1	
40週(10/3-9)	5	2		2	
41週(10/10-16)	0	0			
42週(10/17-23)	2	1		1	
43週(10/24-30)	1	1		1	
44週(10/31-11/6)	1	1	1		
45週(11/7-13)	6	5		5	
46週(11/14-20)	8	5		5	
47週(11/21-27)	6	6	1	5	
48週(11/28-12/4)	11	9		9	
49週(12/5-11)	13	11	1	10	
50週(12/12-18)	23	17	1	16	
51週(12/19-25)	18	17		16	1
52週(12/26-1/1)	13	12		12	
1週(1/2-8)	18	16		14	2
2週(1/9-15)	21	20		19	1
3週(1/16-22)	29	26		25	1
4週(1/23-29)	32	31		28	3
5週(1/30-2/5)	28	24		20	4
6週(2/6-12)	29	27		25	2
7週(2/13-19)	23	22		12	10
8週(2/20-26)	22	18		15	3
9週(2/27-3/5)	22	19		14	5
10週(3/6-12)	18	16		12	4
11週(3/13-19)	15	12		5	7
12週(3/20-26)	12	9		4	5
13週(3/27-4/2)	20	17	1	8	8
14週(4/3-9)	14	13		7	6
15週(4/10-16)	9	9		2	7
16週(4/17-23)	20	18	2	3	13
17週(4/24-30)	16	14		2	12
18週(5/1-7)	2	2			2
19週(5/8-14)	12	11		2	9
20週(5/15-21)	7	4		1	3
合計	484	418	7	303	108

(2) ウイルス検出状況

定点医療機関等から当センターに搬入された検体484件についてウイルス検査を実施した結果、418件からインフルエンザウイルスが検出されました(図5、表1)。

内訳は、AH1pdm09 7件、AH3亜型 303件、B型 108件でした。

また、学級閉鎖など定点医療機関以外から、当センターに搬入された検体34件についてウイルス検査を実施した結果、31件からインフルエンザウイルスが検出されました。

内訳は、AH1pdm09 1件、AH3亜型 29件、B型 1件でした。(図6)。

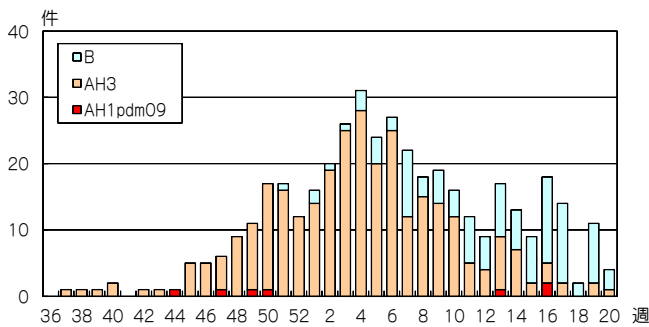


図5. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

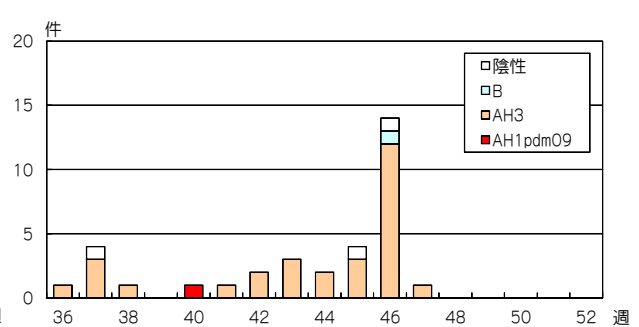


図6. インフルエンザウイルス検出数
(学級閉鎖など定点医療機関以外から搬入された検体)

(3) 2016/2017年シーズンに検出されたインフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹(東京都)

今シーズンは、AH1pdm09、AH3亜型、B型Yamagata系統及びB型Victoria系統のウイルスが分離されました。

今シーズンに検出されたインフルエンザウイルスについてHA遺伝子系統樹及びHI試験を行い、ワクチン株との比較を行いました。

AH1pdm09の流行株は、系統樹上2つのグループに分かれましたが、HI試験では半数以上の株でワクチン株と同等の反応性がみら

れ、抗原性に大きな変異はみられませんでした(図7)。

AH3亜型の流行株は、系統樹上では2016/2017年シーズンワクチン株と同じグループに属していますが、HI試験では一部の分離株でワクチン株との反応性の低下がみられました(図8)。

B型流行株は、Yamagata系統及びVictoria系統がともに流行しました。どちらの系統とも、2016/2017年シーズンワクチン株に近く、抗原性に大きな変異はありませんでした(図9)。

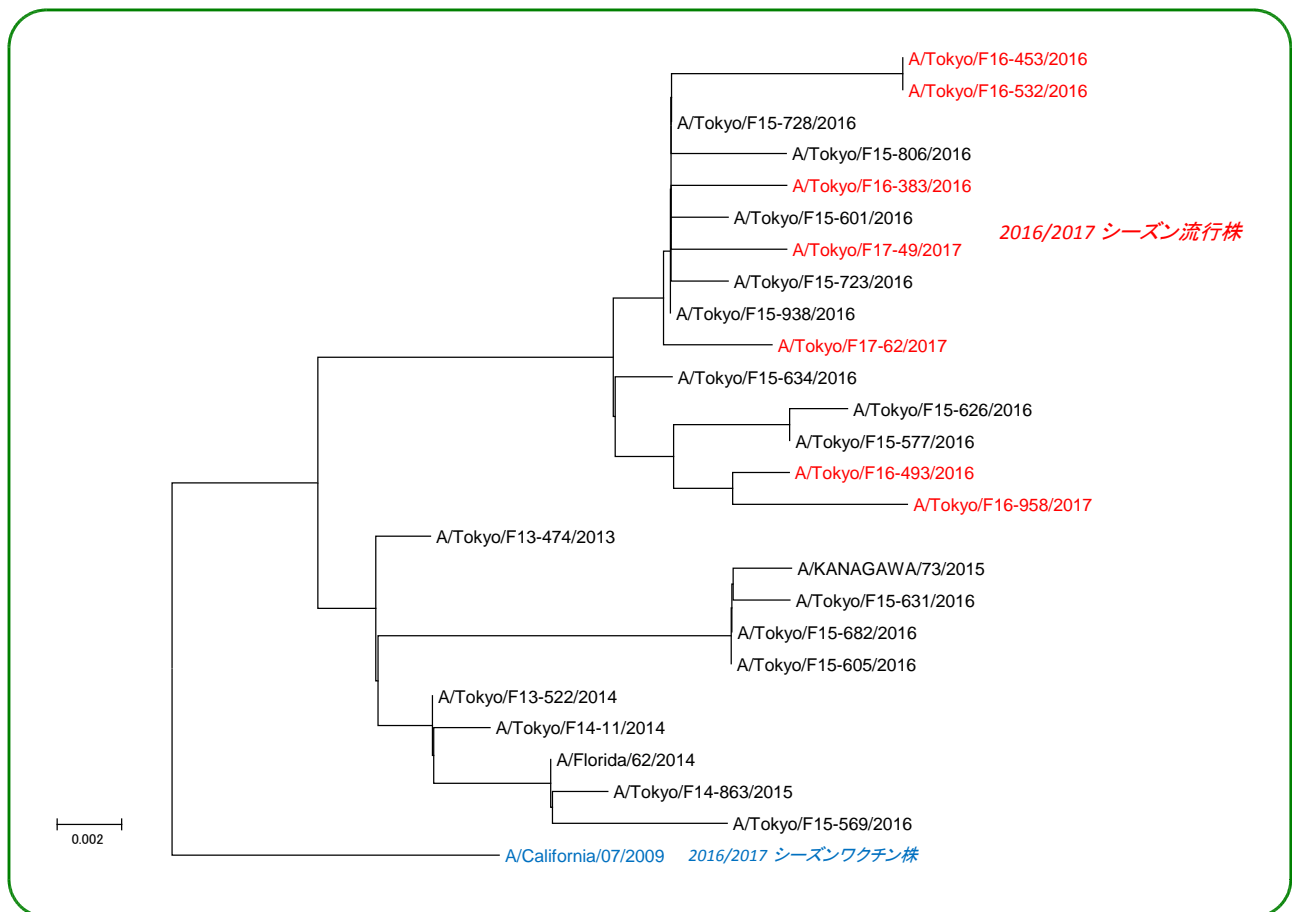


図7. 東京都におけるAH1pdm09インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

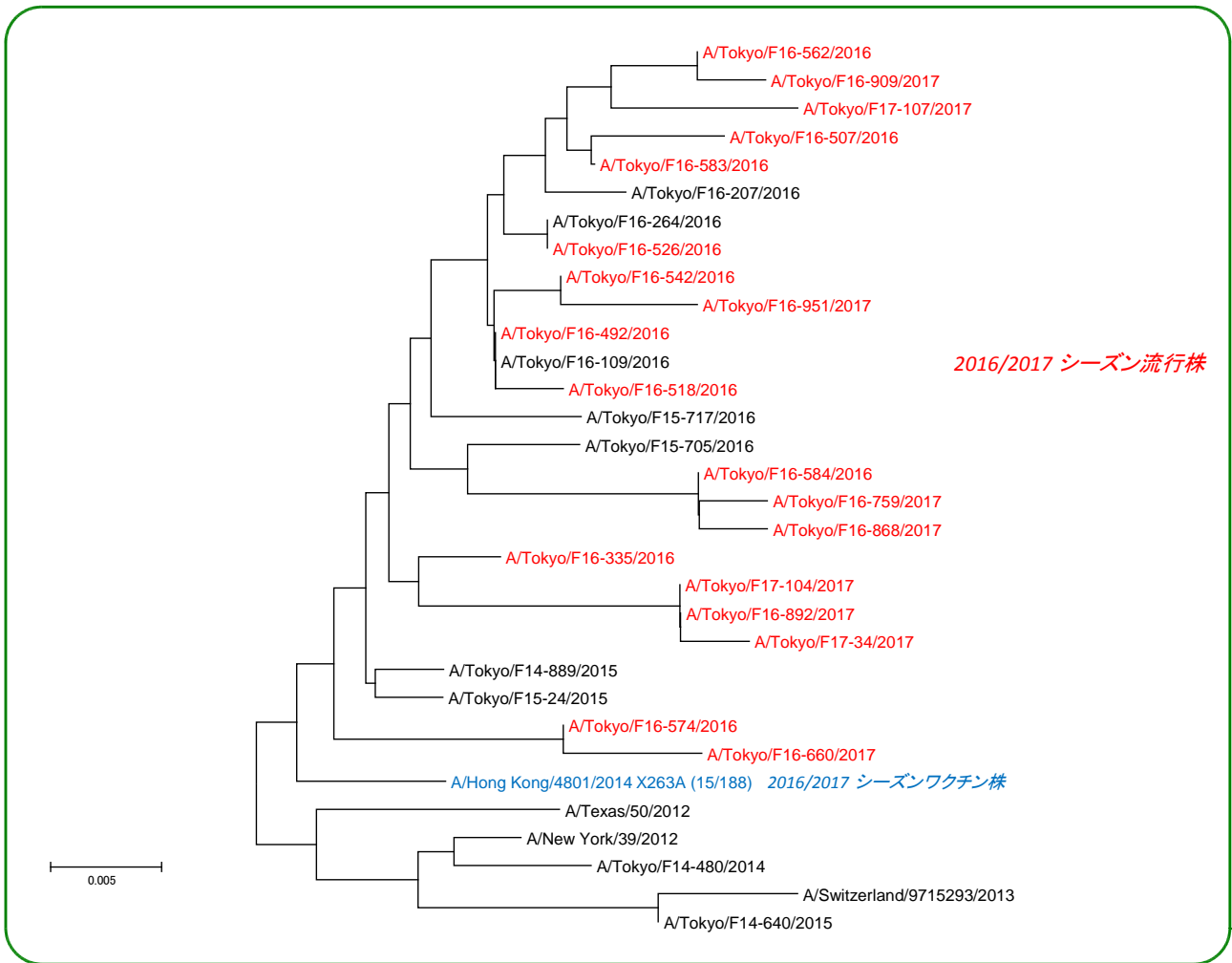


図8. 東京都におけるAH3亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

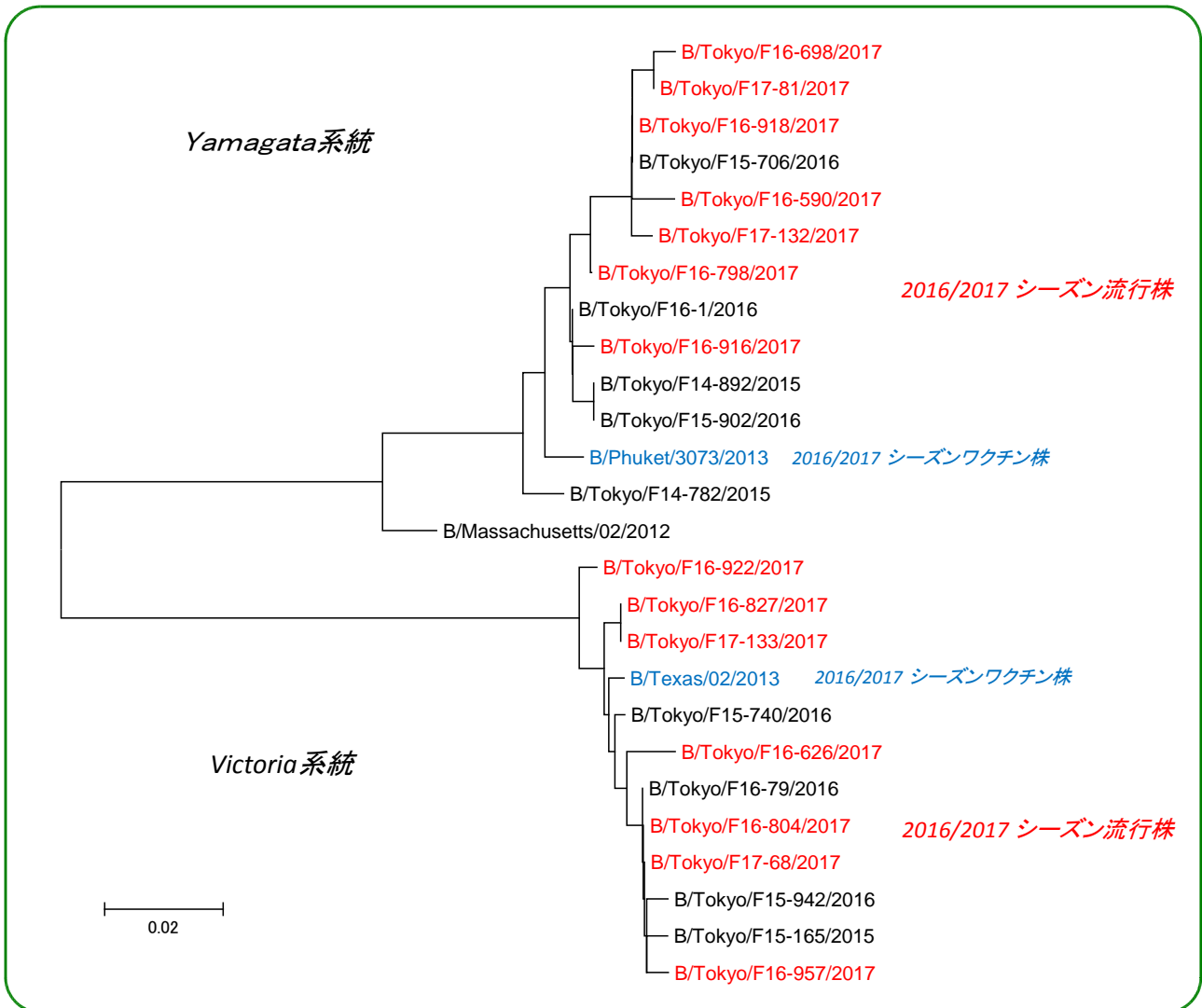


図9. 東京都におけるB型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

この号が2016-17年シーズンの最終号となります。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>